

〈解答〉

- ① 1 (1) カルデラ (2) 地熱
2 二毛作
3 カ
4 ①：山陰 ②：瀬戸内 Y：イ
5 Z：促成 記号：エ

配点 ① 2は2点, 他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 (1) カルデラとは、火山の噴火によって、大量のマグマが噴出し、山頂付近が落ち込んだり、ふきとんだりしてできた円形のくぼ地である。カルデラに水がたまって、カルデラ湖が形成されることもある。阿蘇山は、世界最大級のカルデラをもつ火山である。外輪山に囲まれたカルデラは、南北約24km、東西約18kmにもおよぶ。カルデラ内には鉄道や道路が通り、稲作や放牧も盛んで、数万人が暮らしている。
- (2) 火山活動で生じる地熱は、電力を生み出すエネルギー産業にも利用されている。大分県の八丁原地熱発電所は日本最大級の発電量を誇る。
- 2 同じ土地で1年間に、2種類の農作物を栽培することを二毛作、同じ農作物を2回栽培することを二期作という。筑紫平野の田植えは、全国でも遅い6月下旬に行われる。それは、冬でも暖かい気候を利用して小麦や大麦などを栽培し、その収穫を田植え前の5～6月に行うからである。
- 3 九州南部に広がるシラスは、栄養分が少なく水もたくわえにくく、稲作に適さないため、南部では畑作や畜産が盛んである。近年では外国産の安い肉の輸入が増えており、にわとりや豚、牛などを飼育する畜産は、添加物や保存料などを使わず安全で質の良い肉を生産してブランド化することで、対抗している。
- 4 中国・四国地方は、地形の特徴から、山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域に分けられる。日本海に面する山陰では、冬にふく北西からの季節風の影響で雪や雨の日が多く、山沿いを中心にたくさんの雪が積もる。瀬戸内は、夏も冬も季節風が山地にさえぎられるため、晴天の日が多く、降水量が少ない。南四国は、黒潮の影響を受けるため1年を通して温暖である。
- 5 南四国に位置する高知平野では、温暖な気候を生かした野菜の生産が盛んである。夏が旬であるなすやピーマンなどの野菜を、市場に出回りにくくなる端境期に当たる冬から春にかけて出荷するため、ビニールハウスを利用した促成栽培が行われている。